

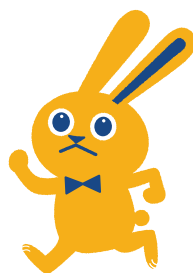


「中東危機を乗り越える緊急対策」が補正予算に

米国によるイラン攻撃により、原油由来製品などの物価高や流通の混乱が進んでいます。国民民主党は以下の緊急対策を提言し、補正予算の編成を求めてきました。

こうした提言を受け、政府は約3兆円規模の補正予算を編成し、6月5日の参議院本会議で可決・成立しました。しかし、約3兆円のうちの97%が「予備費」となっており、本来はあり得ない不透明な予算となっています。国民民主党は、国民生活や企業活動を守るために補正予算が適切に活用されるよう、引き続き政府に求めています。

中東危機を乗り越える緊急対策 5/15、政府へ提出



- ① ガソリン、軽油、灯油などの補助金延長と、出口戦略
- ② 生活コストである電気代、ガス代の補助、水道代の基本料金を免除
- ③ 中小企業の資金繰りや雇用維持を支援し事業継続を後押し
- ④ 石油化学製品について需給状況の実態把握と、目詰まり・偏りを改善
- ⑤ 社会保険料還付の前倒し給付で勤労者層の負担軽減



↑
詳細は党本部のサイト



国民民主党の緊急対策を片山財務大臣に提出

年少扶養控除復活法案を提出

国民民主党は、3月27日に年少扶養控除復活法案を国会に提出しました。これは、高沢議員が衆議院選挙中に強く訴えた公約です。16歳未満の扶養親族に対する所得税と住民税の所得控除を復活させて、子育て世帯の手取りを増やし、お子さんと一緒にお金を使って頂き我が国経済を後押しするものです。今後、成立へ向けて与野党に働きかけていきます。



年少扶養控除復活法案を提出

第51回衆議院選挙

(東京11区、比例代表)

高沢かずもと

当選

2/8 投開票の衆議院議員選挙で「高沢かずもと」は、38,445票を獲得させて頂き、比例代表で初当選となりました。高沢議員は「これからも批判より政策実現でみなさんのお役に立つ政策を実現していきます」と抱負を語りました。



当選証書を受領



一番乗りした議員で整列



タッチパネルの登院盤



議事堂の中央玄関前